



こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

12月定例県議会一般質問

成田空港周辺の地域づくり

「特区制度」の活用検討を

誰もが住み良いふるさと千葉県づくりに全力を挙げている小池正昭県議(成田市選出、2期)は、12月県議会一般質問に立ち、県政の課題や施策の方針について森田知事らに質問しました。

機能強化の議論が続けられている成田空港に関して、小池議員は空港周辺の地域づくりに特区制度の活用も検討すべきだとして県の考えを質しました。

また、本県農業の労働力不足に対応するため、ロボット技術や情報通信技術を活用したスマート農業の推進を要望しました。小池議員の質問と森田知事、県担当者の答弁を紹介します。



12月県議会一般質問を行う小池正昭県議

年度内に地域振興の基本プラン

小池議員 成田空港にとって歴史的な転換点ともいえる更なる機能強化の議論が始まって既に2年が経過した。国としても訪日外国人の増大を目指し成長戦略を描くうえで首都圏の空港容量の拡大は必須であり、また県としても空港の大きな経済波及効果を広めて県内経済全体を成長させるためには、成田空港の更なる機能強化を実現していかねばならない。

しかし、内陸空港である成田空港は、当然に空港周辺の住民への配慮や、歴史的な背景から丁寧な手続きを行う必要があり、県としても着実に議論を進めるために最大限の努力をしていく必要がある。

現在までに、様々な地域振興を求める意見が出されているとのことだが、それらの実現のためにはこれまでにない取り組みも必要。

そこで何うが、空港周辺の地域振興策について、現状の作業状況はどうか。また、空港周辺の地域づくりに向けて、「特区制度」の活用も検討すべきと考えるかどうか。

知事 成田国際空港周辺の地域づくりに関しては、四者協議会において、地域振興策の方向性・内容を掲げた「基本プラン」を策定することとしております。

現在、県では、空港周辺市町や空港会社、国からの意見や要望も踏まえ、基本プランの策定を進めてまいります。

小池議員 増大する訪日旅行者と東京オリンピック・パラリンピックを控えて、成田空港駅及び空港第2ビル駅へのホームドアの設置に対して支援が必要と考えるが、県としてどう対応していくのか。

成田空港駅・空港第2ビル駅 ホームドア設置支援を

小池議員 増大する訪日旅行者と東京オリンピック・パラリンピックを控えて、成田空港駅及び空港第2ビル駅へのホームドアの設置に対して支援が必要と考えるが、県としてどう対応していくのか。

総合企画部長 これら成田空港の2つの駅につきましては、大きな荷物を抱えた旅行者や、外国人観光客の利用も多いことから、安全対策のためのホームドアを設置することは有効と考えておりまして、県としてもこれまで鉄道事業者に対して

プランの策定作業を進めているところであり、市町からは、地域振興策の検討に際し、土地利用規制の緩和などを望む声が寄せられていると聞いております。

このため、県といたしましては、空港周辺の効果的な地域づくりの実現に向けて、特区制度の活用なども含めた様々な施策について、検討を進めてまいります。

再質問 小池議員 空港周辺の地域振興策について、県はいつまでに「基本プラン」を策定するのか。

総合企画部長 今後、市町や空港会社、更に国に対し、基本プランの原案を示し、議論を更に深め、年度内の策定を目指し、作業を進めてまいります。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp

小池まさあきプロフィール

○経歴○

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大 日本大学理工学部卒 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議長
- 平成23年4月 県議会議員初当選(現在2期目)

○現職○

- 県議会 文教常任委員会委員

小池まさあき県議会レポート

深刻な農家の担い手不足対策

スマート農業を推進

小池議員 農林水産業においても労働力の不足が深刻な問題になっている。我が国最大の園芸地帯を自負する千葉県においても、農業の担い手の減少、高齢化といった課題を抱え、県当局の努力にも関わらず耕作放棄地は依然として増加し、大きな問題になっている。

小池議員 農林水産業においてスマート農業の現状はどうか。

農林水産部長 農業の担い手の減少・高齢化が進む中、本県農業の持続的発展を図るためには、省力化や生産性の向上に寄与するスマート農業を推進していくことが重要と考えております。

このため県では、国や機

械メーカーと連携し、大区画での自動運転トラクタ等

の実証試験に取り組むとともに、スマートフォンを活用して、外部からハウス内の温度や炭酸ガスなどを確認し、生産性を高めるシステムや、農業散布を省力化できる

ドローンなどの先進技術の導入を支援しています。その結果、県の調査によると、実証試験を含めた導入事例は、平成28年度の49から、29年度には108に増加するなど、農業現場での普及が進んでいます。

小池議員 策定中の農林水産業振興計画にもスマート農業が掲げられているので、先進的な取り組みを積極的に実践していけるように環境整備をお願いしたい。

要望 小池議員 特別養護老人ホームの入所率が90%を下回ると運営は厳しくなる現実があるので、県として問題の把握に努めてもらいたい。

レンタカーで観光旅行

外国人ドライバーの交通事故、年々増加

こうした地域農業の課題に対応し、省力化や効率化による生産力強化を図る手段の一つがスマート農業。農業生産額で千葉県を上回る北海道や茨城県では、既にスマート農業の具体的な導入が本格的に進んでいる。

小池議員 訪日外国人が日本国内での移動手段としてレンタカーを利用、各観光地を周遊する例が増加している。そこでかがうが、外

国人ドライバーが加害者となる交通事故の発生件数はどうか。また、外国人に日本の交通ルールを周知させるため、レンタカー業者とどの

ような取り組みを行っているのか。

警察本部長 自転車を含め、外国人ドライバーが第1当事者となる交通事故の過去5年間の発生件数は、平成24年が136件、平成25年が167件、平成26年が171件、平成27年が239件、平成28年が252件であり、事故全体の発生件数が減少している中、外国人ドライバーの事故は年々増加の傾向にあります。

小池議員 県内の特別養護老人ホームの入所率はどうな状況か。また、入所率が90%を下回る施設が増え、最低の入所率も低下していると聞いているが、過去と比較してその現状はどうか。

健康福祉部長 平成29年7月1日現在、県所管の特別養護老人ホームの入所率は、96.7%となっております。ここ数年、概ね横ばい推移しています。

また併せて、介護人材の質の確保に向け、キャリアアップのための研修の充実や、研修を受けやすくするために代替となる職員の確保を支援することなども、重要であると考えております。



議場の自席で再質問をする小池県議

県警では、千葉県レンタカー協会に対し、全国レンタカー協会が作成した日本の交通ルールやレンタカー利

用方法について記載した英語表記のリーフレットを成田空港を始め、県内全てのレンタカー業者へ配布・周知

するよう依頼するとともに、外国人のレンタカー利用者に対する交通事故防止に関する助言等を行うよう働き掛けを行っております。

また、運転免許センターにおいても、同リーフレットを外国人へ配布しているほか、同リーフレットの内容が掲載された全国レンタカー協会のホームページと県警ホームページをリンクさせるなど、レンタカー業者と連携した取り組みを推進しているところでもあります。

今後は、東京オリンピック・パラリンピックにあわせて、関連する路線から優先的に英語表記の改善を進めていきたいと考えております。

県内特別養護老人ホーム入所率低下

小池議員 県内の特別養護老人ホームの入所率はどうな状況か。また、入所率が90%を下回る施設が増え、最低の入所率も低下していると聞いているが、過去と比較してその現状はどうか。

健康福祉部長 平成29年7月1日現在、県所管の特別養護老人ホームの入所率は、96.7%となっております。ここ数年、概ね横ばい推移しています。

小池議員 入所率が低下していることに対して、県はどのように対応しているのか。

健康福祉部長 入所率の低下については、近年増加している個室ユニット型の施設の利用が、従来型の施設に比べて高く、入所希望者が少ない傾向にあること、また、自主的に定員を下回る利用者数で運営している施設があることなどが理由と考えられます。